

# 令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 埼玉県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	循環器・呼吸器病センター	2
-	がんセンター	3
-	小児医療センター	4
-	精神医療センター	5
-	総合リハビリテーションセンター	6
さいたま市	市立病院	7
川口市	医療センター	8
秩父市	市立病院	9
所沢市	市民医療センター	10
東松山市	市民病院	11
春日部市	春日部市立医療センター	12
草加市	草加市立病院	13
越谷市	越谷市立病院	14
蕨市	市立病院	15
小鹿野町	国民健康保険町立小鹿野中央病院	16

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名			
病院名	循環器・呼吸器病センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	67.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	33.4
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	22.2
計	-	-	-	61.9
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	7,344,765	
決算規模(千円)	2,237,199,908	
標準財政規模(千円)	1,269,110,350	
財政力指数	0.73883	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	156.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	62,752			
1 経常収益	62,752			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	62,752			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	62,752			
2 経常費用	62,752			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.7	8.6
経費	-	-	22.1	21.3
(うち委託料)	-	-	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	62,752			
(うち支払利息)	62,752	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.8
医業収支比率	-		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名			
病院名	がんセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	70.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	7,344,765	
決算規模(千円)	2,237,199,908	
標準財政規模(千円)	1,269,110,350	
財政力指数	0.73883	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	156.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	188,189			
1 経常収益	188,189			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	188,189			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	188,189			
2 経常費用	188,189			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	188,189			
(うち支払利息)	188,189	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名			
病院名	小児医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	71.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	71.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,344,765	
決算規模(千円)	2,237,199,908	
標準財政規模(千円)	1,269,110,350	
財政力指数	0.73883	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	156.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	165,476			
1 経常収益	165,476			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	165,476			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	165,476			
2 経常費用	165,476			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.7	8.6
経費	-	-	22.1	21.3
(うち委託料)	-	-	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	165,476			
(うち支払利息)	165,476	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.8
医業収支比率	-		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名			
病院名	精神医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	82.1
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	82.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	7,344,765
決算規模(千円)	2,237,199,908
標準財政規模(千円)	1,269,110,350
財政力指数	0.73883
経常収支比率(%)	96.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	358			
1 経常収益	358			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	358			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	358			
2 経常費用	358			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	105.1
材料費	-	-	26.1	9.8
(うち薬品費)	-	-	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.6
減価償却費	-	-	8.7	12.8
経費	-	-	22.1	35.3
(うち委託料)	-	-	11.7	17.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	358			
(うち支払利息)	358	-	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	61.1
修正医業収支比率	-		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	68.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名					
病院名 総合リハビリテーションセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,753 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	120	66.1	66.4	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	66.1	66.4	-
平均在院日数(一般病床のみ)		43.1	39.4	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,344,765	
決算規模(千円)	2,237,199,908	
標準財政規模(千円)	1,269,110,350	
財政力指数	0.73883	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	156.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,133,274			
1 経常収益	4,125,765			
(1) 医業収益	1,880,361			
(うち修正医業収益)	1,880,361			
入院収益	1,440,134			
外来収益	190,356			
診療収入計	1,630,490			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	249,871			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,245,404			
(うち国・都道府県補助金)	513,736			
(うち他会計補助・負担金)	1,392,556			
(うち長期前受金戻入)	331,461			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,509			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,481,767			
2 経常費用	3,481,767			
(1) 医業費用	3,348,502			
職員給与費	1,876,438	99.8	59.4	67.0
材料費	265,354	14.1	26.1	18.2
(うち薬品費)	98,117	5.2	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	137,470	7.3	11.8	9.4
減価償却費	355,604	18.9	8.7	10.2
経費	838,175	44.6	22.1	28.8
(うち委託料)	519,107	27.6	11.7	13.2
研究研修費	10,599			
資産減耗費	2,332			
(2) 医業外費用	133,265			
(うち支払利息)	26,171	1.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	643,998			
純損益	651,507			
累積欠損金	-			
経常収支比率	118.5		103.3	104.5
医業収支比率	56.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	56.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	33.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	74.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	33.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	78.5		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,596,997
1 固定資産	2,904,717
(1) 有形固定資産	2,854,136
(2) 無形固定資産	37,701
(3) 投資その他の資産	12,880
2 流動資産	3,692,280
(1) 現金及び預金	3,068,347
(2) 未収金及び未収収益	616,490
(3) 貸倒引当金( )	3,257
(4) 貯蔵品	10,700
3 繰延資産	-
負債合計	4,441,676
1 固定負債	2,208,073
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,261,221
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	946,852
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	906,606
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	352,837
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	125,442
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	409,872
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,326,997
(1) 長期前受金	1,981,520
(2) 長期前受金収益化累計額( )	654,523
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,155,321
1 資本金	468,114
2 剰余金	1,687,207
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,687,207
負債・資本合計	6,596,997
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,387,156	1,392,556
資本勘定繰入	217,406	357,493
計	1,604,562	1,750,049

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	さいたま市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	64,382 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	577	76.3	73.7	75.8
療養	-	-	-	-
結核	20	56.3	39.2	38.0
精神	30	54.0	53.6	41.4
感染症	10	37.0	39.1	43.4
計	637	74.0	71.2	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.3	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,324,025	
決算規模(千円)	657,348,945	
標準財政規模(千円)	322,781,920	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	16.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,351,551			
1 経常収益	26,351,551			
(1) 医業収益	19,283,584			
(うち修正医業収益)	18,909,693			
入院収益	14,004,679			
外来収益	4,540,079			
診療収入計	18,544,758			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	738,826			
(うち他会計負担金)	373,891			
(2) 医業外収益	7,067,967			
(うち国・都道府県補助金)	3,412,227			
(うち他会計補助・負担金)	2,559,378			
(うち長期前受金戻入)	871,015			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	25,756,384			
2 経常費用	25,695,134			
(1) 医業費用	24,269,228			
職員給与費	11,504,340	59.7	59.4	52.8
材料費	5,410,753	28.1	26.1	31.5
(うち薬品費)	2,340,799	12.1	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,069,954	15.9	11.8	13.9
減価償却費	2,894,110	15.0	8.7	7.7
経費	4,407,328	22.9	22.1	18.0
(うち委託料)	2,732,864	14.2	11.7	10.7
研究研修費	45,735			
資産減耗費	6,962			
(2) 医業外費用	1,425,906			
(うち支払利息)	48,731	0.3	1.0	0.9
(3) 特別損失	61,250			
損益	656,417			
純損益	595,167			
累積欠損金	29,387			
経常収支比率	102.6		103.3	102.8
医業収支比率	79.5		85.5	90.3
修正医業収支比率	77.9		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.2		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	11.1		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	91.1		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	47,915,440
1 固定資産	36,537,567
(1) 有形固定資産	33,802,572
(2) 無形固定資産	472,012
(3) 投資その他の資産	2,262,983
2 流動資産	11,377,873
(1) 現金及び預金	2,164,293
(2) 未収金及び未収収益	9,086,551
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	121,600
3 繰延資産	-
負債合計	38,852,610
1 固定負債	32,825,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,104,859
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,225,876
(7) 一ス債務	494,360
2 流動負債	5,200,791
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,060,827
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	736,327
(6) リ一ス債務	601,942
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,787,966
(9) 前受金及び前受収益	55
3 繰延収益	826,724
(1) 長期前受金	8,504,108
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,677,384
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	9,062,830
1 資本金	9,088,967
2 剰余金	-26,137
(1) 資本剰余金	3,250
(2) 利益剰余金	-29,387
負債・資本合計	47,915,440
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,933,269	2,933,269
資本勘定繰入	967,661	967,661
計	3,900,930	3,900,930

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	川口市				
病院名	医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,984 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	510	72.2	72.0	73.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	510	72.2	72.0	73.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	11.1	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	594,274	
決算規模(千円)	234,444,172	
標準財政規模(千円)	114,131,188	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.1
	将来負担比率(%)	6.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,810,704			
1 経常収益	18,771,250			
(1) 医業収益	15,742,426			
(うち修正医業収益)	15,228,126			
入院収益	10,895,960			
外来収益	3,960,070			
診療収入計	14,856,030			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	886,396			
(うち他会計負担金)	514,300			
(2) 医業外収益	3,028,824			
(うち国・都道府県補助金)	1,052,952			
(うち他会計補助・負担金)	1,139,854			
(うち長期前受金戻入)	723,059			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	39,454			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,113,821			
2 経常費用	19,109,161			
(1) 医業費用	18,182,230			
職員給与費	8,713,283	55.3	59.4	52.8
材料費	3,893,652	24.7	26.1	31.5
(うち薬品費)	1,630,805	10.4	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,262,847	14.4	11.8	13.9
減価償却費	1,539,407	9.8	8.7	7.7
経費	3,939,626	25.0	22.1	18.0
(うち委託料)	1,852,587	11.8	11.7	10.7
研究研修費	40,937			
資産減耗費	55,325			
(2) 医業外費用	926,931			
(うち支払利息)	40,450	0.3	1.0	0.9
(3) 特別損失	4,660			
損益				
経常収支比率	98.2		103.3	102.8
医業収支比率	86.6		85.5	90.3
修正医業収支比率	83.8		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	8.8		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	89.6		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,290,078
1 固定資産	21,036,330
(1) 有形固定資産	20,718,313
(2) 無形固定資産	4,065
(3) 投資その他の資産	313,952
2 流動資産	6,253,748
(1) 現金及び預金	2,728,648
(2) 未収金及び未収収益	3,429,344
(3) 貸倒引当金( )	6,199
(4) 貯蔵品	100,782
3 繰延資産	-
負債合計	15,635,226
1 固定負債	3,776,384
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	400,000
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,926,177
(7) 一ス債務	450,207
2 流動負債	2,846,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	316,350
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	598,987
(6) リ一ス債務	352,955
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,575,243
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	9,012,159
(1) 長期前受金	21,920,199
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,908,040
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	11,654,852
1 資本金	5,033,237
2 剰余金	6,621,615
(1) 資本金剰余金	7,611,790
(2) 利益剰余金	-990,175
負債・資本合計	27,290,078
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,318,708	1,654,154
資本勘定繰入	748,846	748,846
計	3,067,554	2,403,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	秩父市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,567 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨	輪	
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	165	55.4	49.3	52.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	165	55.4	49.3	52.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	13.6	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	59,674	
決算規模(千円)	31,906,181	
標準財政規模(千円)	17,480,128	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	85.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,011,583			
1 経常収益	3,011,583			
(1) 医業収益	2,600,885			
(うち修正医業収益)	2,424,524			
入院収益	1,421,846			
外来収益	915,423			
診療収入計	2,337,269			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	263,616			
(うち他会計負担金)	176,361			
(2) 医業外収益	410,698			
(うち国・都道府県補助金)	160,184			
(うち他会計補助・負担金)	167,949			
(うち長期前受金戻入)	34,903			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,971,023			
2 経常費用	2,970,952			
(1) 医業費用	2,869,425			
職員給与費	1,557,975	59.9	59.4	67.0
材料費	448,646	17.2	26.1	18.2
(うち薬品費)	220,214	8.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	208,140	8.0	11.8	9.4
減価償却費	146,375	5.6	8.7	10.2
経費	704,900	27.1	22.1	28.8
(うち委託料)	285,890	11.0	11.7	13.2
研究研修費	7,426			
資産減耗費	4,103			
(2) 医業外費用	101,527			
(うち支払利息)	1,211	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	71			
損益	40,631			
純損益	40,560			
累積欠損金	331,347			
経常収支比率	101.4		103.3	104.5
医業収支比率	90.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	84.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	89.8		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,065,877
1 固定資産	1,698,796
(1) 有形固定資産	1,679,060
(2) 無形固定資産	2,142
(3) 投資その他の資産	17,594
2 流動資産	2,367,081
(1) 現金及び預金	1,852,306
(2) 未収金及び未収収益	509,184
(3) 貸倒引当金( )	6,265
(4) 貯蔵品	11,856
3 繰延資産	-
負債合計	1,033,452
1 固定負債	165,425
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	165,425
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	303,211
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,095
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	116,690
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	134,426
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	564,816
(1) 長期前受金	1,650,019
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,085,203
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,032,425
1 資本金	2,802,244
2 剰余金	230,181
(1) 資本金剰余金	61,228
(2) 利益剰余金	168,953
負債・資本合計	4,065,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	344,310	344,310
資本勘定繰入	55,706	55,706
計	400,016	400,016

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	所沢市				
病院名	市民医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,246 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	49	56.8	53.8	47.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	56.8	53.8	47.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	16.8	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	342,464	
決算規模(千円)	116,895,054	
標準財政規模(千円)	62,801,138	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,087,919			
1 経常収益	2,063,378			
(1) 医業収益	1,427,521			
(うち修正医業収益)	1,427,521			
入院収益	319,381			
外来収益	595,847			
診療収入計	915,228			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	512,293			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	635,857			
(うち国・都道府県補助金)	15,792			
(うち他会計補助・負担金)	599,313			
(うち長期前受金戻入)	17,212			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	24,541			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,884,420			
2 経常費用	1,881,171			
(1) 医業費用	1,829,886			
職員給与費	1,008,019	70.6	59.4	87.7
材料費	257,515	18.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	155,552	10.9	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	101,715	7.1	11.8	5.9
減価償却費	87,680	6.1	8.7	12.7
経費	473,227	33.2	22.1	45.1
(うち委託料)	287,452	20.1	11.7	21.3
研究研修費	1,572			
資産減耗費	1,873			
(2) 医業外費用	51,285			
(うち支払利息)	142	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	3,249			
経常損益	182,207			
純損益	203,499			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.7		103.3	101.7
医業収支比率	78.0		85.5	62.5
修正医業収支比率	78.0		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	29.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	42.0		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	28.7		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	77.8		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,750,754
1 固定資産	1,023,147
(1) 有形固定資産	1,011,524
(2) 無形固定資産	11,623
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	727,607
(1) 現金及び預金	515,059
(2) 未収金及び未収収益	208,817
(3) 貸倒引当金( )	370
(4) 貯蔵品	4,101
3 繰延資産	-
負債合計	597,349
1 固定負債	157,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	144,882
(7) 一ス債務	12,886
2 流動負債	239,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,967
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,870
(6) リ一ス債務	10,198
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	133,172
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	199,767
(1) 長期前受金	1,121,433
(2) 長期前受金収益化累計額( )	921,666
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,153,405
1 資本金	634,632
2 剰余金	518,773
(1) 資本金剰余金	115,580
(2) 利益剰余金	403,193
負債・資本合計	1,750,754
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	39,049	599,313
資本勘定繰入	-	-
計	39,049	599,313

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名	東松山市		
病院名	市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	13,805 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	12	指定病院の状況	救 感 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	110	77.2	71.1	61.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	3.7	53.4
計	114	74.5	68.7	60.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	14.1	12.3

設立団体の状況	
人口(人)	91,791
決算規模(千円)	33,999,469
標準財政規模(千円)	19,089,221
財政力指数	0.83
経常収支比率(%)	93.2
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 3.6 12.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,339,962			
1 経常収益	4,339,962			
(1) 医業収益	3,340,772			
(うち修正医業収益)	3,287,768			
入院収益	1,754,073			
外来収益	1,325,697			
診療収入計	3,079,770			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	261,002			
(うち他会計負担金)	53,004			
(2) 医業外収益	999,190			
(うち国・都道府県補助金)	559,327			
(うち他会計補助・負担金)	401,704			
(うち長期前受金戻入)	22,448			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,889,946			
2 経常費用	3,889,946			
(1) 医業費用	3,708,887			
職員給与費	1,862,310	55.7	59.4	67.0
材料費	868,892	26.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	562,804	16.8	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	306,088	9.2	11.8	9.4
減価償却費	323,213	9.7	8.7	10.2
経費	639,293	19.1	22.1	28.8
(うち委託料)	371,737	11.1	11.7	13.2
研究研修費	5,727			
資産減耗費	9,452			
(2) 医業外費用	181,059			
(うち支払利息)	10,833	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	450,016			
純損益	450,016			
累積欠損金	2,058,339			
経常収支比率	111.6		103.3	104.5
医業収支比率	90.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	88.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	99.9		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,884,282
1 固定資産	4,117,850
(1) 有形固定資産	4,116,359
(2) 無形固定資産	1,491
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,766,432
(1) 現金及び預金	1,742,830
(2) 未収金及び未収収益	969,445
(3) 貸倒引当金( )	2,231
(4) 貯蔵品	11,661
3 繰延資産	-
負債合計	4,238,136
1 固定負債	3,328,888
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,961,305
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	363,404
(7) 一 負債	4,179
2 流動負債	686,712
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	192,998
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	120,258
(6) リ 一 負債	3,276
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	361,343
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	222,536
(1) 長期前受金	420,798
(2) 長期前受金収益化累計額( )	198,262
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,646,146
1 資本金	4,704,029
2 剰余金	-2,057,883
(1) 資本剰余金	456
(2) 利益剰余金	-2,058,339
負債・資本合計	6,884,282
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	454,708	454,708
資本勘定繰入	98,806	98,806
計	553,514	553,514

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	春日部市				
病院名	春日部市立医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,600 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	361	71.0	69.9	70.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	48.6	74.4
計	363	70.6	69.8	70.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.0	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	229,792	
決算規模(千円)	85,699,016	
標準財政規模(千円)	46,124,629	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	9.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,603,502			
1 経常収益	12,546,960			
(1) 医業収益	10,163,771			
(うち修正医業収益)	9,893,278			
入院収益	6,008,083			
外来収益	3,692,432			
診療収入計	9,700,515			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	463,256			
(うち他会計負担金)	270,493			
(2) 医業外収益	2,383,189			
(うち国・都道府県補助金)	1,072,768			
(うち他会計補助・負担金)	669,237			
(うち長期前受金戻入)	559,805			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	56,542			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,081,768			
2 経常費用	12,060,867			
(1) 医業費用	11,432,586			
職員給与費	5,237,738	51.5	59.4	59.0
材料費	3,127,697	30.8	26.1	25.6
(うち薬品費)	2,145,914	21.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	981,783	9.7	11.8	11.2
減価償却費	859,820	8.5	8.7	8.6
経費	2,186,319	21.5	22.1	21.3
(うち委託料)	1,370,204	13.5	11.7	11.6
研究研修費	17,020			
資産減耗費	3,992			
(2) 医業外費用	628,281			
(うち支払利息)	46,541	0.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	20,901			
損益	486,093			
純損益	521,734			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.0		103.3	104.8
医業収支比率	88.9		85.5	87.0
修正医業収支比率	86.5		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	7.5		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	96.2		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,088,983
1 固定資産	14,692,756
(1) 有形固定資産	13,603,480
(2) 無形固定資産	2,692
(3) 投資その他の資産	1,086,584
2 流動資産	4,396,227
(1) 現金及び預金	2,025,540
(2) 未収金及び未収収益	2,290,056
(3) 貸倒引当金( )	12,114
(4) 貯蔵品	68,517
3 繰延資産	-
負債合計	16,043,190
1 固定負債	9,406,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,749,840
(2) その他の企業債	739,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	345,497
(7) 一ス債務	571,950
2 流動負債	2,132,649
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	489,644
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	321,782
(6) リ一ス債務	125,721
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,151,003
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,504,154
(1) 長期前受金	8,048,824
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,544,670
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,045,793
1 資本金	922,302
2 剰余金	2,123,491
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,123,491
負債・資本合計	19,088,983
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	939,730	939,730
資本勘定繰入	301,559	301,559
計	1,241,289	1,241,289

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	草加市				
病院名	草加市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I	訓力	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,431 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨	災	輪
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	380	64.6	68.7	67.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	64.6	68.7	67.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	10.2	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	248,304	
決算規模(千円)	94,941,211	
標準財政規模(千円)	46,929,732	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	26.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,560,243			
1 経常収益	14,546,669			
(1) 医業収益	11,120,098			
(うち修正医業収益)	10,582,063			
入院収益	6,688,027			
外来収益	3,768,554			
診療収入計	10,456,581			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	663,517			
(うち他会計負担金)	538,035			
(2) 医業外収益	3,426,571			
(うち国・都道府県補助金)	1,984,461			
(うち他会計補助・負担金)	811,965			
(うち長期前受金戻入)	566,774			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,574			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,426,685			
2 経常費用	13,293,153			
(1) 医業費用	12,501,204			
職員給与費	5,889,038	53.0	59.4	59.0
材料費	2,927,829	26.3	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,583,744	14.2	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,344,085	12.1	11.8	11.2
減価償却費	810,391	7.3	8.7	8.6
経費	2,787,559	25.1	22.1	21.3
(うち委託料)	1,751,751	15.8	11.7	11.6
研究研修費	23,402			
資産減耗費	62,985			
(2) 医業外費用	791,949			
(うち支払利息)	109,516	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	133,532			
損益	1,253,516			
純損益	1,133,558			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.4		103.3	104.8
医業収支比率	89.0		85.5	87.0
修正医業収支比率	84.6		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	99.3		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,186,841
1 固定資産	12,257,480
(1) 有形固定資産	12,234,126
(2) 無形固定資産	1,059
(3) 投資その他の資産	22,295
2 流動資産	5,929,361
(1) 現金及び預金	3,197,383
(2) 未収金及び未収収益	2,571,851
(3) 貸倒引当金( )	3,600
(4) 貯蔵品	162,064
3 繰延資産	-
負債合計	14,404,626
1 固定負債	6,232,570
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,996,959
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	1,233,611
2 流動負債	2,769,941
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	474,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	391,500
(6) リ一ス債務	330,736
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,531,658
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,402,115
(1) 長期前受金	14,781,771
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,379,656
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,782,215
1 資本金	2,398,948
2 剰余金	1,383,267
(1) 資本剰余金	1,251,924
(2) 利益剰余金	131,343
負債・資本合計	18,186,841
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,464,923	1,350,000
資本勘定繰入	867,370	350,000
計	2,332,293	1,700,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名		越谷市			
病院名		越谷市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,126 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	481	60.1	58.9	61.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	481	60.1	58.9	61.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	12.6	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	341,621	
決算規模(千円)	123,562,586	
標準財政規模(千円)	65,170,729	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	2.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,883,296			
1 経常収益	11,732,701			
(1) 医業収益	9,855,784			
(うち修正医業収益)	9,315,784			
入院収益	6,377,858			
外来収益	2,776,518			
診療収入計	9,154,376			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	701,408			
(うち他会計負担金)	540,000			
(2) 医業外収益	1,876,917			
(うち国・都道府県補助金)	1,175,513			
(うち他会計補助・負担金)	560,000			
(うち長期前受金戻入)	70,823			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	150,595			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,129,188			
2 経常費用	12,116,632			
(1) 医業費用	12,029,485			
職員給与費	6,318,889	64.1	59.4	57.2
材料費	2,725,156	27.7	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,254,432	12.7	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,389,327	14.1	11.8	12.7
減価償却費	794,578	8.1	8.7	8.0
経費	2,146,150	21.8	22.1	19.0
(うち委託料)	1,071,652	10.9	11.7	10.0
研究研修費	21,834			
資産減耗費	22,878			
(2) 医業外費用	87,147			
(うち支払利息)	46,076	0.5	1.0	1.0
(3) 特別損失	12,556			
損益	-383,931			
純損益	-245,892			
累積欠損金	926,580			
経常収支比率	96.8		103.3	103.2
医業収支比率	81.9		85.5	88.6
修正医業収支比率	77.4		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	87.8		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,933,960
1 固定資産	7,565,078
(1) 有形固定資産	7,037,271
(2) 無形固定資産	2,805
(3) 投資その他の資産	525,002
2 流動資産	2,368,882
(1) 現金及び預金	89,723
(2) 未収金及び未収収益	2,153,450
(3) 貸倒引当金( )	9,100
(4) 貯蔵品	132,365
3 繰延資産	-
負債合計	4,704,974
1 固定負債	2,282,393
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,030,193
(2) その他の企業債	171,063
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	81,137
2 流動負債	2,232,626
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	700,605
(2) その他の企業債	7,437
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	320,000
(6) リース債務	54,898
(7) 一時借入金	500,000
(8) 未払金及び未払費用	605,228
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	189,955
(1) 長期前受金	1,346,847
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,156,892
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,228,986
1 資本金	6,155,566
2 剰余金	-926,580
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-926,580
負債・資本合計	9,933,960
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,100,385	1,100,000
資本勘定繰入	647,763	200,000
計	1,748,148	1,300,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名		蕨市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,866 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	7	指定病院の状況	救	輸	
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	130	59.0	56.9	57.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	59.0	56.9	57.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	12.7	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	74,283	
決算規模(千円)	30,891,881	
標準財政規模(千円)	15,480,027	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,983,652			
1 経常収益	2,982,841			
(1) 医業収益	2,819,117			
(うち修正医業収益)	2,578,667			
入院収益	1,092,478			
外来収益	1,304,428			
診療収入計	2,396,906			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	422,211			
(うち他会計負担金)	240,450			
(2) 医業外収益	163,724			
(うち国・都道府県補助金)	111,412			
(うち他会計補助・負担金)	13,226			
(うち長期前受金戻入)	2,633			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	811			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,082,960			
2 経常費用	3,080,671			
(1) 医業費用	2,982,658			
職員給与費	1,786,404	63.4	59.4	67.0
材料費	653,669	23.2	26.1	18.2
(うち薬品費)	421,303	14.9	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	213,381	7.6	11.8	9.4
減価償却費	138,554	4.9	8.7	10.2
経費	401,445	14.2	22.1	28.8
(うち委託料)	218,629	7.8	11.7	13.2
研究研修費	1,439			
資産減耗費	1,147			
(2) 医業外費用	98,013			
(うち支払利息)	1,666	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,289			
損益	-97,830			
純損益	-99,308			
累積欠損金	1,340,754			
経常収支比率	96.8		103.3	104.5
医業収支比率	94.5		85.5	80.1
修正医業収支比率	86.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	88.6		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,140,698
1 固定資産	1,146,190
(1) 有形固定資産	1,087,060
(2) 無形固定資産	59,130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	994,496
(1) 現金及び預金	490,970
(2) 未収金及び未収収益	499,860
(3) 貸倒引当金( )	10,317
(4) 貯蔵品	13,983
3 繰延資産	12
負債合計	1,146,628
1 固定負債	822,824
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,221
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	600,250
(7) 一時的債務	47,353
2 流動負債	307,009
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,867
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	100,450
(6) リース債務	17,124
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	141,318
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,795
(1) 長期前受金	31,076
(2) 長期前受金収益化累計額( )	14,281
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	994,070
1 資本金	2,288,836
2 剰余金	-1,294,766
(1) 資本剰余金	13,804
(2) 利益剰余金	-1,308,570
負債・資本合計	2,140,698
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	254,221	253,676
資本勘定繰入	45,080	3,196
計	299,301	256,872

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	小鹿野町				
病院名	国民健康保険町立小鹿野中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,475 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	95	48.6	47.2	48.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	48.6	47.2	48.7
平均在院日数(一般病床のみ)		25.5	20.9	22.7

設立団体の状況		
人口(人)	10,928	
決算規模(千円)	8,104,459	
標準財政規模(千円)	4,560,392	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	87.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	18.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,348,952			
1 経常収益	1,348,952			
(1) 医業収益	1,050,470			
(うち修正医業収益)	1,020,470			
入院収益	561,688			
外来収益	345,348			
診療収入計	907,036			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	143,434			
(うち他会計負担金)	30,000			
(2) 医業外収益	298,482			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	207,001			
(うち長期前受金戻入)	70,349			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,302,815			
2 経常費用	1,302,747			
(1) 医業費用	1,256,801			
職員給与費	730,233	69.5	59.4	76.5
材料費	110,913	10.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	30,099	2.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,110	6.4	11.8	6.4
減価償却費	86,404	8.2	8.7	11.5
経費	327,597	31.2	22.1	32.6
(うち委託料)	111,733	10.6	11.7	14.8
研究研修費	768			
資産減耗費	886			
(2) 医業外費用	45,946			
(うち支払利息)	12,404	1.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	68			
損益	46,205			
純損益	46,137			
累積欠損金	1,742,733			
経常収支比率	103.5		103.3	101.5
医業収支比率	83.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	81.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	17.6		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	85.4		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,237,166
1 固定資産	973,019
(1) 有形固定資産	973,019
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	264,147
(1) 現金及び預金	130,786
(2) 未収金及び未収収益	130,197
(3) 貸倒引当金( )	128
(4) 貯蔵品	3,292
3 繰延資産	-
負債合計	993,994
1 固定負債	671,112
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	671,112
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	211,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	107,562
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,986
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	53,938
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	111,396
(1) 長期前受金	395,002
(2) 長期前受金収益化累計額( )	283,606
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	243,172
1 資本金	1,984,633
2 剰余金	-1,741,461
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,741,461
負債・資本合計	1,237,166
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	237,001	237,001
資本勘定繰入	71,722	71,722
計	308,723	308,723

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	165.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。